

ハッキョでウリ文化を満喫！

21 日にウリハッキョで文化祭が行われました。台風が迫りくるあまりいい天候ではありませんでしたが、予想を上回る来場者でにぎわいました。

第 1 部の「公演」は学生たちの合唱、芸術競演大会にも出場した民族器楽部の演奏、男子学生たちのサムルノリなどで、客席から大きな拍手がわいていました。他にも県教組委員長の弾き語り、チョチョントム達の混声重唱も大好評でした。特にチョチョントムたちの重唱は機会があればまた聴かせてほしいという声があちらこちらから聞こえてきました。青商会、「朝鮮学校を支援する会」からのチャリティー金の伝達には学校保護者のみならず参加者全員から感謝の気持ちを込めた拍手がわきました。

第 2 部飲食コーナーとバザーもいつになく盛況でした。学生たち、オモニ会だけでなくニョメン支部や元教員、ハルモニたちも独自のブースを構えて文化祭を盛り上げました。

オモニ会のバザーも大好評で、始まる前から品定めをする「お客様」で人だかりができていました。掘り出し物満載のバザーは最後まで人が途切れることなく、繁盛していました。

今年の文化祭は天気にも恵まれず、他の行事と重なったことなどで来場者は少ないのでは…と思っていましたが、予想以上の方々に来ていただき、例年に比べ公演だけ見たら帰る、バザーで買い物だけして帰るような方が少なく最後まで文化祭を楽しんでくださったような気がします。それだけ「ウリハッキョの文化祭」がウリトンポだけでなくハッキョ周辺の住民たちにも根付いてきた証拠だと思います。

これからも様々な形でハッキョを知っていただける機会ができればいいですね！

金剛山歌劇団公演迫る

金剛山歌劇団の公演が間近に迫りました。

県内のトンポたちにとっては 2 年ぶりの公演で、楽しみにしている方も多いかと思います。経済状況の悪化や様々な困難の中、実行委員はじめ多くの方々の協力を得て公演実現までこぎ着くことができました。今年のプログラムは各地で大好評を博しています。どうぞお楽しみに！

11 月 2 日(木) 午後 6 時 30 分 開場 6 時
郡山市民文化センター

「週刊トンネ」をラインで送ることができます。
ご希望の方は身近なイルクンに声をかけて下さい。

「プログラムの一部紹介」

- ・ 朝鮮時代の天才画家金弘道、申潤福が描いた名作を表現した舞踊
- ・ 盲目の父のために身を投じる孝心がやがて素晴らしい奇跡をうむ「沈清伝」を舞踊で再現
- ・ 1970 年代にウリナラで作られた歌劇の名場面
- ・ 「青山里に豊年がきた」のメロディーにのせての「サンモの踊り」農楽舞

今週の放射線量 (ハッキョ自動測定器)

16日(月)	0.104	20日(金)	0.091
17日(火)	0.098	21日(土)	0.094
18日(水)	0.099	22日(日)	0.099
19日(木)	0.096		

25	26	27	28	29	30	31
水	木	金	土	日	月	火